

# 岐阜農林事務所農業普及課の普及活動状況

平成23年6月30日現在

## 今月の重点活動

### (いちご研修生3名が6月1日から就農開始)

J A全農岐阜のいちご研修施設を卒業した3名が、6/1から就農（岐阜市で2名、各務原で1名）した。就農者はJ Aや業者と協議し、栽培施設の建設や育苗管理を行っている。また、新規就農者支援として、県農業経営課と農業技術センターの協力を得て、新規就農者育苗指導巡回を行い、適正な育苗管理指導を行った。【写真：合同育苗ほ巡回の様子】



## 主要農作物の生産振興

### ■ 水稲 (鉄コーティング湛水直播栽培 播種開始)

瑞穂市・本巣市では、6月3日から鉄湛直の播種が始まり指導を行った。  
(栽培面積 4.5ha 栽培者5名 4品種 (ハツシモSL・あさひの夢・ひとめぼれ・ミツヒカリ))

### ■ いちご

#### (平成22年産いちご出荷終了)

平成22年産いちご出荷が、6月上旬をもって終了した。冬期は低温で推移したが天候がよく日照時間が確保できたため、例年と比べ収量が大幅に向上した。特に3月中旬以降の収穫量が多く、一時期、出荷量は前年比150%以上となった。

#### (いちごの加工開発) (J Aぎふ岐阜市いちご部会青年部活動)

岐阜商工会との連携でいちごの加工開発を行っている。現在、いちごパウダーと(1次加工)、冷凍いちご(個人と業者用)を中心に開発を進めている。また、商工会の行事等に区青年部として参加し、富山との交流や岐阜市の商工側(長良川おんぱく：旅館組合)との連携を進めている。

### ■ たまねぎ (業務加工用たまねぎの収穫)

各務原市稲羽西地区にて、業務加工用に栽培しているたまねぎの収穫が6月16日に行われた。農家、全農岐阜、J Aぎふ、農産園芸課、機械メーカー(クボタ)が参集し、一部の作業(コンテナ入れ)を機械利用して実施された。収穫されたたまねぎは、J Aぎふ各務原集荷予冷施設にて乾燥後、規格モノを契約先(キューピー)指定の容器に入れ替えて7月上旬に出荷予定している。

### ■ にんにく (収穫行われる)

岐阜市、本巣市、山県市の各ほ場巡回において収穫期を検討して6月上中旬に収穫作業が行われた。病害球は少なめであったが、雨天で作業が遅れたための裂皮がみられた。収穫したにんにくは約3週間乾燥庫で乾燥し、市場や加工業者に出荷される。【写真：乾燥室内に積み上げられたにんにく】



## ■ブロッコリー (生産販売の方向性を検討)

J A・全農担当者との第1回目の生産販売会議が6月8日に行われた。H22の一番の問題は低温と降雪により1月の出荷量が少なかったことであり、その対策として品種選定や地域リレーについて検討がなされた。今後、地域ごとの品種構成や資材について検討を重ねてゆく。

## ■まくわうり (栽培開始)

栽培研究会では5月28日に定植を実施。台風2号の影響から一部、補植した。本年も真桑小学校といづみ北幼稚園における栽培を支援中。

## ■かき 生育遅れで着果懸念

富有の満開が5月30日と平年より1週間以上遅れている状況であり、開花期の天候不順から受粉への影響も心配されている。さらに5月末からの梅雨入りと台風の影響による降雨及び低温のため、果実へタ部等に灰色かび病が多発した。特に早生品種に被害が多い。被害果は生理落果終了後の見直し摘果で対応する予定。

## 担い手の育成・確保

### ■女性農業経営アドバイザー (第1回産消交流会の開催)

6月21日「ぎふの野菜を知ろう」をテーマに、岐阜地域食生活改善協議会リーダー16名とアドバイザー会員16名との産消交流会を開催。地産地消の大切さや「ぎふクリーン農業生産登録」等の取り組みについて紹介し、意見交換をおこなった。農業普及課では、交流会実施に向け関係機関との連携、内容等について支援をした。

### ■集落営農組織・営農組合 (えだまめ栽培第1回目の播種終了)

羽島市桑原土地営農組合が今年からえだまめの栽培に取り組むことが決まり、6月9日に最初の播種作業が行われ、支援を実施した。今後、天気を見ながら順に播種作業が行われる予定となっている。

【写真 えだまめの播種作業】



### ■農業体験学習指導 (羽島市・山県市で農業体験学習等への支援)

小中学生の体験学習(食農教育)が開催され、J A、農業普及課が支援を行った。

〔羽島市 6月7日、9日、10日 田植え体験(小学生・一部親も参加)〕

〔山県市 6月14日 イネの無農薬栽培の勉強〕

〔各務原市 6月18日 田植え体験(小学生と家族)〕

また、6月19日には、羽島市でアイガモ稲作体験イベントが行われ、県内外から消費者約200名が参加し、アイガモ田で田植えの体験を行った。今年は研究開発中の水田除草ロボット(アイガモロボット)のデモンストレーションもあり、参加者の関心を集めた。

## 地域の動き等

### ■瑞穂市学校給食用野菜生産グループ (たまねぎ・じゃがいも出荷中)

5月25日にじゃがいも・たまねぎ目揃え会を実施。玉葱は豊作傾向のため、予定を超えて10月まで出荷する予定とした。(農家の意向により市場出荷は断念)

今後の予定 7月上旬 さといもダツかき現地研修

8月上旬～秋冬野菜栽培研修

8月下旬 徳田ねぎ現地視察

